

第4回 ローンを甘く見ると地獄行き

ここでは企業が資金を得るためにお金を借りるなどは除外し、あくまでも個人消費のための負債についてがテーマです。

ここ 10 数年ほどで、ローンやクレジットに軽い気持ちで手を出してどん底に落ちる人が激増しました。

ここには罠があるということを見ていきましょう。

ローン = 負債 = 借金

負債というと、あなたはどんなイメージを持っていますか？

「闇金みたいなものから借りる借金のこと？それとも消費者ローン？」

いいえ、負債はお金を借りること全てと思ってください。ローンも負債です。住宅ローンも車のローンもです。

もちろんクレジットカードのリボ払い、だけでなくクレジットカード決済も負債です。

現金を借りるだけでなく、一時的にでも借りて支払う時点で負債です。負債 = 借金です。

「住宅ローンやクレジットは誰でも利用してるだろ。借金と言われると気分が悪い！」

と思うかもしれませんが、前回の高収入貧乏のように収入の高い人でも破滅する要因なのでもっと重く考えて欲しくてあえて強めに訴えかけるようにしています。

借金は重くてローンは軽い？

昨今 "ローン" という横文字で何となくやわらかい表現になっている気がするだけで借金は借金です。

そこに差はありません。

銀行系消費者ローンが芸能人を起用してテレビ CM を流してるので身近でクリーンな感がありますが、借金です。

昔ながらの重苦しい借金という言葉のイメージと全く同義です。

決してやさしくなったり、軽くなっちはいません。

消費者ローンが CM してて身近、クレジットカード当たり前の社会になった、何にでもローンを組める、などといったこの身近な感じ、手軽な感じが大問題です。

借金が身近、借金して買うのが当たり前の社会になった、何にでも借金ができる、と言い換えてみます。

「支払い期日や返済額がきちんと決まっているから計画性を持って、わかって使ってるんだよ」

という反論は不十分過ぎます。

その支払いの仕組み、利息の仕組みまで本当にきちんと理解しているかが重要です。

また、支払いをしっかりと把握し、翌月以降の支出に組みこんで先の先を考えた上で利用できているかということ、怪しくなってくる人が数多くいます。

負債の仕組みの罠

負債で利息がかかる場合は全て複利です。

複利は 3000 万円借りて年利 3%とすると翌年 3090 万円に、よく翌年は 3180 万円ではなく 3090 万に 3%かけて 3182 万 7 千円になるということです。

投資の長期運用では複利は強い味方ですが、負債の場合はいわゆる “雪だるま式にふくれる” 原因になるわけです。

支払額が毎月定額の場合が多いですが、これも複利と組み合わせて貸す側がより多く利息を取るための仕組みです。

必ず繰り上げ返済で早く返すことを強くオススメします。

クレジットカードでも、どこかで予想外の出費がかさんで支払いが厳しくなった時にリボにしてしまうと、支払いが延々続きます。

リボがなくならない、という余計なストレスを感じるようになります。お金のストレスはじわじわ効きます。

たちが悪いのは一度やってしまうと何かにつけて

「またリボにすればいいや」と考えるようになりやすく、支払

総額がいつの間にかふくれ上がることになる点です。

人の先延ばし思考も巻き込んだ心理トリックです。

カンタンにリボ変更できるのはカード会社が儲かるからです。

決して利用者のためではなく無知な顧客から儲けるためです。

貸す側も利益をいかに最大化するかに考えを張り巡らせてます。

軽い気持ちでリボやキャッシング、複数のローンを組んだりし

てしまうといつの間にか借金がふくらむ場合がほとんどです。

月々支払いをしているから、と安心してしまうからです。

返してるから大丈夫、はまやかしです。元本はほとんど減らず、

後々まで利息ばかり払う仕組みに乗せられています。

支払いが重くなってきても問題を後回しにする人が多いですが、

首が回らなくなって初めて危機感を抱いても手遅れです。多く

の人はこうして地獄行きになります。

※茹でガエルの話と同じです。

※カエルは、いきなり熱湯に入れるとおどろいて逃げますが、常温の水に入れて水温をちょっとずつ

上げていくと逃げ出すタイミングを失い、最後には死んでしまう話

状況が徐々に悪化していても危機感を持たない、ということを揶揄（やゆ）した話

カエルにならないよう気をつけなくてははいけません。決して他人事ではなく、前回お伝えしたように高収入の人たちですら破滅する恐ろしい話なのです。

金貸しの戦略にはまらないようにしましょう。

全ては自己責任。これが社会人の最低限のマナーであって知らなかったでは済まされません。自分の身とお金は自分で守りましょう。

今回は、負債はいつの間にか大きくなるようにできてるので

- ・ 仕組みを理解して納得の上で利用する
- ・ できる限り早くなくすようにしないと後々重くなってきて、

地獄行きになる恐れがある

ということについてお伝えしてきました。

お金を

守る（知識と情報力）→稼ぐ（本業と副業）→増やす（投資）

をサイクルにしていくことが安定運用の基本です。

お金を守る知識は全ての土台になっていきます。

次回は、さらにお金を守る知識の続々編として支出コントロールについてお伝えします。

森 ひろき